

学生の受入れ（案）について

1 基本的考え方

(1) アドミッションポリシー

地域の芸術・文化・教養の深化に寄与し、地域・社会・産業に貢献できる人材を育成するという教育目標を達成するため、新大学では、次のような学生を積極的に受け入れることとする。

- ◇ 芸術の未知の領域に強い関心を持つ人
- ◇ 自ら問題を発見し、積極的に学ぶ意欲のある人
- ◇ 芸術分野で自立する意欲のある人
- ◇ 身につけた能力を社会に還元できる人

(2) 総合入試の導入

入試制度については、学科全体で学生を募集する総合入試を導入し、3年次に専攻を選択することとする。

2 入学者の選抜方法

(1) 入学定員について

少人数制による質の高い教育の実現や、きめ細かな就職支援等への対応が可能となること、また、美術系大学を持つ類似規模の他都市の状況等を総合的に勘案し、入学定員は100人とする。

(2) 入試区分と選抜方法について

入学者が身につけておくべき基礎学力や表現能力の評価を、「一般選抜」、「推薦選抜」により実施し、特別選抜の「社会人入試」については若干名を受け入れることとする。

「AO入試」については、美術大学の性格からみて推薦入試と重複することから、当面実施しない。

また、「留学生の受入れ」については入試区分に枠として設定するか、別途教授会による選考として受け入れるかを検討を行う。

① 一般選抜

ア 選抜方法

学力検査については開学初年度から大学入試センター試験を利用するとともに、個別試験として基礎的な実技に関する検査や面接を課し、入学志願者の能力や適性等を多角的に判定する。

なお、センター試験の受験科目は、国語、英語を必修とし、さらに社会・

数学・理科から1科目を選択させる3教科3科目とする。

イ 入試日程

入試日程については、より優秀な人材をより多く確保するという観点で、次の例のような日程での実施を考えている。

- 前期日程・後期日程 (国公立大学の一般的な日程)
- 前期日程・中期日程・後期日程 (一部公立大学の日程)
- A日程・B日程・C日程 (別日程)

② 推薦選抜

推薦選抜は、「一般推薦」と「特別推薦」とし、「特別推薦」には県内枠と市内枠を設け、市内枠の中に指定校（附属高等学院）枠を設けることとする。

出願資格は、入学年の3月に高等学校等を卒業見込みで、調査書の評定平均値が一定水準以上であり、出身高等学校長が推薦する者とする。

選抜方法は、大学入試センター試験を免除し、調査書・推薦書・志望理由等の出願書類審査、実技および面接により行う。

③ 社会人特別選抜

社会人入試の出願資格は、学校教育法第90条に定める大学入学資格を有する者で、3年以上の職業経験を有し、入学年の4月1日に21歳以上の者とし、選抜方法については検討を行う。

(3) 入試区分ごとの募集人数について

- ① 入学定員100人のうち、一般選抜75人、推薦選抜25人とする。
- ② 推薦選抜の定員25人については、一般推薦枠を15人、特別推薦枠を10人とし、特別推薦の県内枠を5人、市内枠を5人とし、市内枠の中に指定校を含む。

※入試区分と募集人数

学部・学科	入学定員	入試区分と募集人数			
		一般入試	推薦入試		社会人入試
美術学部 美術学科	100人	75人	一般推薦 15人	特別推薦 県内枠5人 市内枠5人 (指定校含む)	若干名

3 3年次編入学について

提言書において、「他短大、大学、美短卒業生等を対象とした編入学枠を設けることが望ましい」とされていること、また、平成25年、26年3月の美短卒業者の進路保障という観点から、開学年度から3年次編入を行うこととする。

